

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

（別紙1）

担当課：九州地方整備局 道路部 地域道路課  
 担当課長名：西川 勝義

事業名	一般県道 <small>くがみあんのう</small> 国上安納線 <small>いせき</small> 伊関工区	事業区分	地方道	事業主体	鹿児島県
起終点	自：鹿児島県西之表市寺之門 至：鹿児島県西之表市軍場	延長	5.2 km		

事業概要

一般県道国上安納線は、種子島北部の西之表市国上を起点に伊関を經由し安納に至る約12kmの路線であり、重要港湾西之表港及び本島北部の地域相互間を結ぶとともに、北部地域の産業の振興や生活を支援する道路として重要な役割を果たしている。伊関工区は、隘路区間約5.2kmを現道拡幅するものである。

事業の目的、必要性

伊関工区は、バス路線であるが、幅員狭小で、線形不良等の交通の隘路となっている。さらに、周辺には中学校1校、小学校3校があり通学路となっているが、歩道もなく危険な状況であるため、歩行者の安全確保と安全で円滑な交通確保を図ることを目的として整備する。

全体事業費	2.3億円		計画交通量	410台/日
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年
	1.1	21億円 （事業費：19億円 維持管理費：2億円）	24億円 （走行時間短縮便益：22億円 走行費用減少便益：1億円 交通事故減少便益：1億円）	平成15年

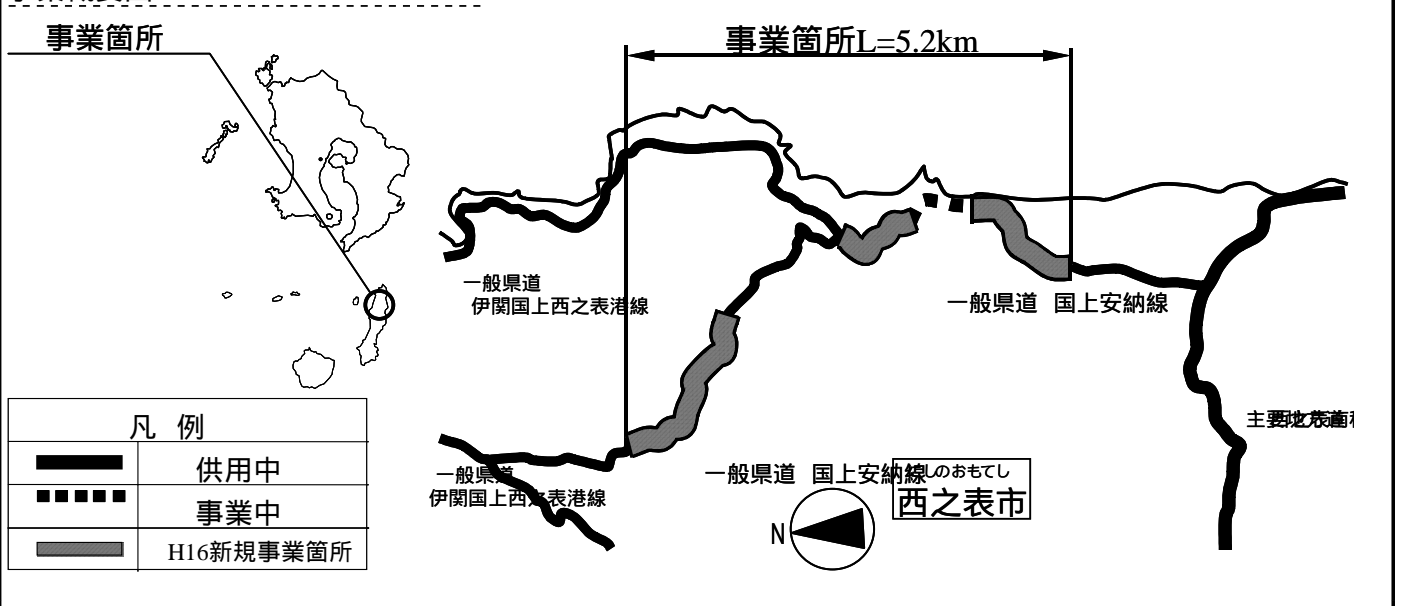
事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線がある）
  - ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難箇所が改善される）
  - ・物流効率化の支援（西之表港（重要港湾）へのアクセス向上が見込まれる）
- 他4項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見

国上安納線の当該区間は、安全で円滑な交通確保が望まれており、西之表市（平成14年5月）をはじめとして伊関区、国上区長（平成13年9月）等より要望を受けている。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。